

イースターへの

あら おも 新たな想い

よるね とき いっせつ あたま おも
夜寝ようとしていた時に、ふとこんな一節が頭に思い
う かわれ たましい よみ す
浮かびました。「彼は、わたしの魂を陰府に捨ておかれま
せん。」 聞いたことがある聖句のようだったけど、よく
わ さま さだ
分かりません。これがイエス様についてなのかも、定か
は ありませんでした。

わたしはスマホを出して、その一節をググってみました。
たし せいぐ せいぐ しへん べん おう
確かに聖句でした。詩篇の16篇にあります。ダビデ王が
イエス様についての預言を書き記した一節でした。

「まことに、あなたは、わたしの魂を陰府に捨ておかず、
あなただけの聖者が朽ち果てるのをお許しになりません。」¹
ダビデがイエス様について語っているのかも確かめた
かったので、もうちょっと調べてみました。全く同じ聖句が、
しとぎょうでん だいしやう ごじゆんせつ はじ せつきやう
使徒行伝の第2章でも、五旬節の初めての説教でペテロに
よって引用されていました。その前に、こんなことが起きて
います。イエス様は、聖霊が下ってくることを弟子たちに
い のご てん あ でし
言い残して、天に上げられていました。そこで信者たちは、
つぎ なに お き おくじやう ま
次に何が起るのだろうと気をもみながら、屋上の間で
身を寄せ合って待っていました。すると、聖霊が炎のように
ひとりひとり うえ くだ でし いま けいけん
一人一人の上へ下り、弟子たちは、今までに経験したことも
ないような力と大胆さで満たされたのでした。



そのころ、エルサレムは世界中から集まって来た信心
深いユダヤ人でいっぱいでした。ユダヤの暦で一番
大切な行事の一つである五旬節（ペンテコステ）を
祝おうとしていたのです。

聖霊に満たされた弟子たちは、屋上の間から外に
出てきて、福音を宣べ伝え始めました。それも、今まで
全く知らなかった外国語で！ 外国からエルサレムに
来ていたユダヤ人たちは、弟子たちが自分たちの国の
言葉を知っていたことに驚嘆してしまいました。今までに
学んだことさえない言語で話せるようになるなんて、
一体何が起こったのかと考えあぐねていました。中には、
「あの人たちは酒で酔っているのだ。」² とあざける
人たちもいました。

すると、ほんの数週間前にはイエス様を知らない
と否定した、あのペテロが立ち上がり、群衆に向かって声を
張り上げました。「今は朝の九時ですから、あなたがたの
思っているように、わたしたちは酔っているのではありません。
預言者ヨエルによって語られたように、御霊が
注がれたのです。」³



ペテロは話し続けました。最近十字架刑になったと
みんなが知っているナザレのイエスが神の御子であり、
神は彼を死からよみがえらせて下さったことを説明
しました。そして、詩篇第16篇に書かれているダビデの
預言を引用しました。4

ペテロは言いました。「兄弟たち。先祖ダビデに
ついては、わたしはあなたがたに、確信をもって言う
ことができます。彼は死んで葬られ、その墓は今日まで
わたしたちのところにあります。彼は預言者でしたから、
神が彼の子孫の一人を彼の王位に着かせると誓って言わ
れたことを知っていました。それで、キリストの復活に
ついて前もって知り、『彼は陰府に捨てて置かれず、
その肉体が朽ち果てることもない。』と語ったのです。
神はこのイエスをよみがえらせました。わたしたちは
みな、そのことの証人です。」5

それからペテロは群衆にとどめを刺しました。
「ですから、イスラエルのすべての人々は、このことを
はっきりと知らなければなりません。すなわち、神が、今や
主ともキリストともされたこのイエスを、あなたがたは
十字架につけたのです。」6



ペテロの説教は非常に力強く、塗油されていました。
人々は強く心を刺され、叫んで言いました。「兄弟たち。
わたしたちはどうしたらよいでしょうか。」

ペテロは「悔い改めなさい。そして、バプテスマを
受けなさい。」と答えました。その日、3,000人の人が教会に
加わりましたが、それはただの始まりに過ぎませんでした。⁷

御自身の死と復活を通して、イエス様は、人類の進む道を
完全に変わってしまう贈り物を下さいました。その贈り物とは：

1. 救いと、神様とのつながり
2. 聖霊
3. イエス様が十字架で苦しんだことによる、

いやしの賜物。⁸

聖霊という贈り物は、イエス様の死と直接関係して
います。わたしは以前、この贈り物を、イースターにお祝い
するものとして考えたことはあまりありませんでした。
でも今は、イースターの時にお祝いするための、素晴らしい
贈り物だということが分かります。イエス様が物理的に
弟子たちの元を去ったからこそ、彼らが、そしてわたしたちが
受け取れるようになったものが、聖霊だからです。



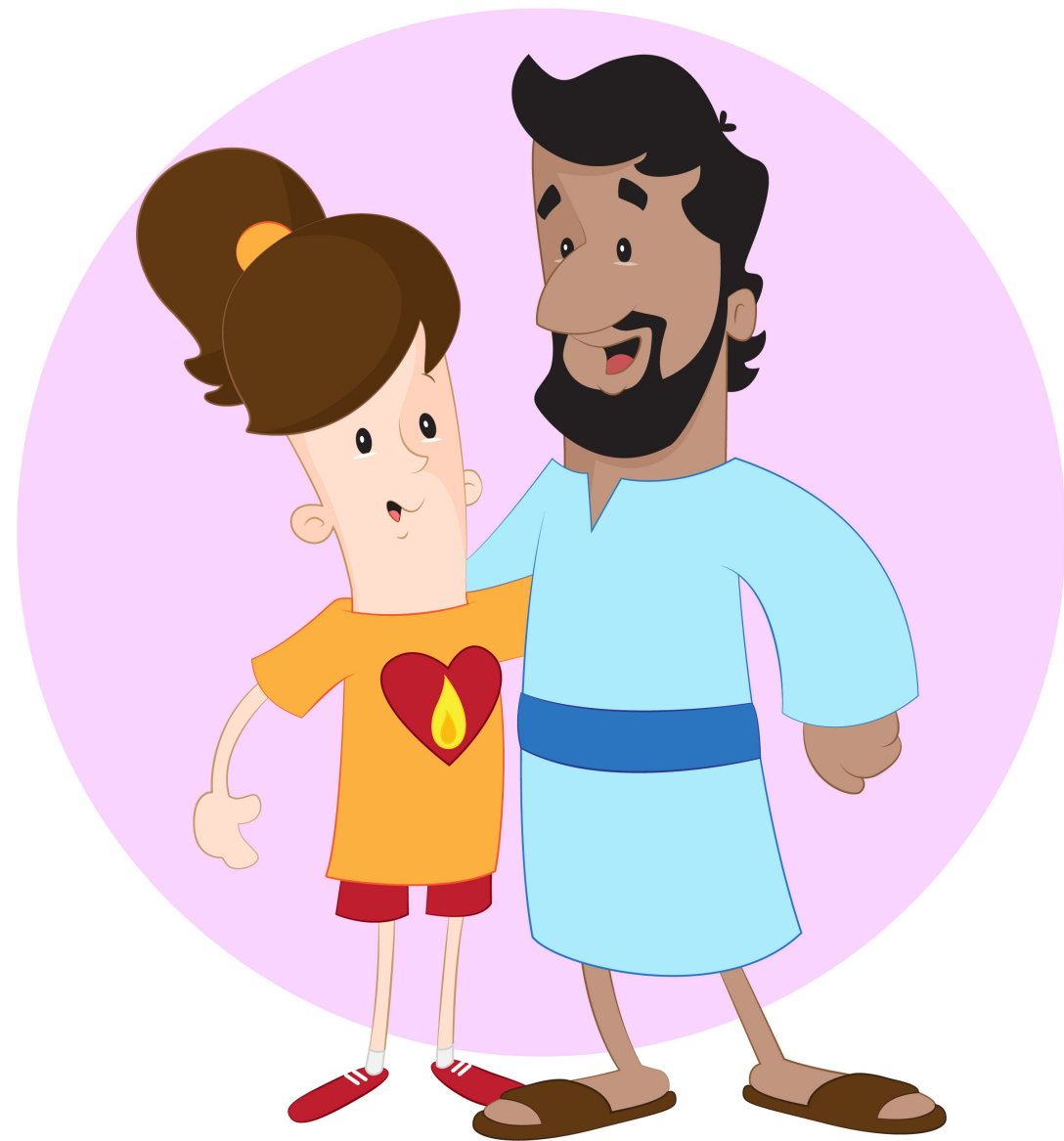
「しかし、助け主、すなわち、父がわたしの名によってつかわ
される聖霊は、あなたがたにすべてのことを教え、またわたしが
話しておいたことを、ことごとく思い起こさせるであろう。」⁹

聖霊は、わたしたちの内に宿っておられる神様です。つまり、
わたしたちの人生には神様が存在しておられるということです。
そのために、イエス様は喜んで御自分の命を与えて下さったの
ですから。聖霊は救いをもたらずだけではなく（それだけでも
最高に素晴らしい、愛に満ちた贈り物ですが）、わたしたちを
毎日神様の存在とつなげてくれ、わたしたちが永遠に神様と
いられるようにしてくれます。

聖霊についてそんなふうに考えると、イースターやイエス様が
わたしたちのためにして下さい下さったことに対する感謝の気持ちが
一層深まりました。イエス様がわたしのためにして下さい下さったことを
より深く理解できたことを、感謝しています。わたしはそれを、
決して当たり前のことのように受け止めたくはありません。

脚注

- 1 英語欽定訳聖書、詩篇 16:10参照
- 2 口語訳聖書、使徒行伝 2:13
- 3 使徒行伝 2:15-16参照
- 4 使徒行伝 2:27参照
- 5 使徒行伝 2:29-32参照
- 6 新改訳聖書、使徒行伝 2:36
- 7 使徒行伝 2:37-38, 41参照
- 8 イザヤ書 53:5参照
- 9 口語訳聖書、ヨハネによる福音書 14:26



文：マラ・ホドラーの著書の編集 原作の出版：Just1Thing

絵：アルビ デザイン：ステファン・ミーラー

出版：マイ・ワンダー・スタジオ Copyright © 2017年、ファミリーインターナショナル

“Another Layer of Easter”--Japanese

関連の読み物はこちら ⇒ 聖霊、イースター